

野呂氏館(別名無)(津市芸濃町椋本)

野呂氏館(やかた)跡は、津市芸濃町椋本にあり、安濃川の沖積地を眼下に見下ろす段丘端部に立地する。規模は東西 80m× 南北 90m ほどの方形で、周囲に人家が迫ってはいるが、主櫓、堀や土塁など残り具合は良好であった。南は比高 10m ほどの切り立った崖、東と西は自然の谷で、北には堀と土塁を設け防御施設とした構造の武士館跡である。戦国時代、中勢地域の有力な武将、雲林院氏の家臣であった野呂氏の居館とされるが、詳しいことは不明である。館跡から西方向 1・5km 先には、主家である雲林院氏の居城跡が残る城山がよく見える。

1983(昭和 58)年に、町道改修に伴い事前の発掘調査が実施された。調査面積は道路幅部分と個人住宅移転部分の 2600㎡で、館跡の中心部から外れた西端部だけの発掘であった。最近、館跡近くを通る機会があったが、驚いたことに調査対象外の館跡中心部まで開発が進んでいた。堀や土塁の痕跡がほとんど残っていない状況で、非常に残念に思った。

三重県環境生活部文化振興課県史編さん班より

